

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	6	議員名	森脇勇人	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
質問項目		質問要旨					
1	社会資本整備総合交付金について	(1) 松江市での社会資本整備総合交付金、防災・安全交付金の現状について以下伺う。 ア 令和7年度の社会資本整備総合交付金は松江市の要望額の52%ときくが、過去5年間の松江市内における市への交付の状況と事業進捗の効果はどのようになっているのか伺う。また、島根県の状況が分かれば伺う。 イ 国から県、松江市に交付されるまでの裁量権について伺う。 ウ 島根県の裁量権について、配分について県市長会での議論はあるのか伺う。 エ 人口は少ないが管理面積が多く、対応しなくてはいけない案件が多い島根県、松江市などへの配分についての所見を伺う。 オ 道路特定財源は2009年に一般財源化され、廃止された。道路特定財源による補助金が廃止され16年経ったが、補助金から交付金に代わり、思うような予算が組まれず事業進捗が遅くなったように感じる。同時に地方の疲弊、過疎化が加速したように感じるが市長の所見を伺う。 カ ガソリン税暫定税率の廃止に伴う影響はあるのか伺う。 キ 先般の研修で総務省では暫定税率の廃止は、既に一般財源化されており社会資本整備総合交付金などには影響はないと言われたが果たしてそうなのか疑問がある、市長の所見を伺う。					
2	普通交付税・地方交付税について	(1) 国税5税に対する市長の考え方を伺う。 (2) 人件費増に対する交付税の算定状況を伺う。 (3) 基準財政需要額に示される松江市職員の数と実際の職員数はいかほどか伺う。 (4) 退職延長もあり職員数は多くなっているようにきくが、それでも職員が足りないとこれまで説明されてきた。原因と今後の職員数の平準化対策を伺う。 (5) 財政力指数で松江市は今まで県内でトップであったが、出雲市も同じ財政力指数0.56となった。しかしながら経常収支比率では松江市93.7、出雲市86となっており、この違いは人件費、職員数の違いにあると思うが対策と所見を伺う。					
3	七類港の現状と隠岐諸島との関係について	(1) 現在の七類港の現状と、今後の方針について以下伺う。 ア 県管理港湾に指定されている七類港について島根県の活性化、利用計画が私たちには見えない。隠岐諸島との結節点であり半島防災や観光の拠点と考えるが島根県、松江市としての利用促進策を伺う。 イ 隠岐汽船においては現在人手不足の為、3隻あるフェリーのうち1隻が運航されていない。運航されていないフェリーの状況と今後の見通しを伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	6	議員名	森脇勇人	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
		質問項目	質問要旨				
			ウ 隠岐諸島の玄関口としてフェリーが運航できていないのは観光やジオパーク事業、圏域の衰退につながるが、島根県、松江市ではどのような所見を持っているのか伺う。 エ 県に任せるばかりでなく、松江市の積極的な関与が必要と考えるが所見を伺う。				
4		河川浚渫の考え方について	(1) 5年前に前松浦市長は私の一般質問答弁で国が100%充当、70%交付の緊急浚渫事業債と補助裏の100%充当50%交付の国土強靱化事業債が発行できる制度ができることとなり、都道府県の中で唯一島根県だけが浚渫事業を行う際に市や町に2分の1負担させていたものを今後は独自に行うようお願いしたいというような答弁をいただいていたが現在の状況を伺う。				
5		駐車場について	(1) 周辺駐車場情報がナビゲーションシステムや松江市の駐車場情報として発信、受信できる仕組みがあれば混雑も少なくなると考えるが、現状と城山駐車場以外の駐車場告知が出来ないか伺う。				
6		森林環境譲与税について	(1) 森林環境譲与税が創設され6年経ったが松江市の実績と、譲与税の今後の見通し、事業計画を伺う。				

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	7	議員名	村松りえ	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
		質問項目		質問要旨			
1		拉致問題への取り組み		(1) 舞台劇「めぐみへの誓いー奪還ー」の参加者数と学校ごとの参加者数など詳細を伺う。 (2) 今後の拉致問題への取り組みについて伺う。 (3) 市長に舞台劇「めぐみへの誓いー奪還ー」の所感を伺う。			
2		アントレプレナーシップ教育		(1) 松江市が考えるアントレプレナーシップ教育の意義について伺う。 (2) 現在行っているアントレプレナーシップ教育の取り組みの現状について伺う。 (3) 松江市での小学生のアントレプレナーシップ教育の導入について見解を伺う。			
3		ハラル給食対応から考える多文化共生		(1) 松江市に住民票のある外国人の過去5年間の人数と人口比の推移を伺う。 (2) そのうち、松江市に100人以上の方が在住の出身国を伺う。 (3) 松江市で公教育を受けている児童生徒のうち、外国人の人数、割合、出身国を伺う。 (4) アレルゲンフリー給食とハラル給食の定義の違いについて松江市の見解を伺う。 (5) ハラル給食を制度として導入することについて、市の見解を伺う。 (6) 松江市に在住の外国人で日本語指導の必要な方の割合はどのくらいか、そういった方々への日本語を学ぶ機会の提供について、市の状況を伺う。 (7) 様々な背景を持った外国人の児童生徒への対応のため、世界各国の様々な宗教への理解を深めることや、多様な文化や価値観を尊重する姿勢を育む教育を推進することについて市の見解を伺う。			

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	8	議員名	海徳邦彦	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
質問項目		質問要旨					
1	市営住宅の建替えについて	(1) 松江市における公営住宅等の供給戸数の現状と課題について伺う。 (2) 松江市における公営住宅等の整備に関する基本的な考えを伺う。 (3) 今期の松江市公営住宅等長寿命化計画の中に、「今後も公営住宅等の新規整備及び建替えは行わず、長寿命化を図る」とあるが、多様なライフスタイルなどの変化に即した対応が必要である。そこで、PFI方式を導入し公営住宅等の建替えや再整備を行い、誰もが安心して住める公営住宅等の供給を目指すべきと考えるが、見解を伺う。					
2	融雪剤について	(1) 今期の除雪計画について伺う。 (2) 融雪剤は、市内で何か所配置されているのか。また、要望したら新規で配備できるものなのか伺う。 (3) 各公民館の融雪剤の配置状況について伺う。 (4) 生活道路での融雪剤の散布は、市民の皆様の協力なくして成り立たないと考える。しかし、散布するタイミングや散布方法が分からない市民が多いと感じる。道路管理者としてどのように対応をしているのか伺う。					
3	小型金属用ごみ袋導入について	(1) 今回、発災したエコクリーンの被害状況について伺う。 (2) 発災等により、エコクリーン松江が操業停止した場合、BCP(事業継続計画)では、どのような対応を取ることになるのか伺う。また、修繕に必要な費用は、どのような財源を使うのか伺う。 (3) エコクリーン松江に搬入される可燃ごみの1日の搬入量は、どれくらいなのか。また、この可燃ごみを、民間処分場や他自治体等に搬入し処分した場合、どれくらいの費用を想定しているのか伺う。 (4) 11月10日に、可燃ごみの集積中にパッカー車より発災した。被害状況と対応について伺う。 (5) 誤った分別で排出されると、ごみ収集作業中に発災する恐れがある。収集作業時におけるリチウムイオン電池を原因とする発災は、通常の消火と異なり、特殊な消火方法があるのではないかと考える。委託事業者の合同研修会や消火訓練等の必要性について見解を伺う。 (6) リチウムイオン電池等の発災事故は、起こりうる。民間放送局等のコマーシャル(CM)を活用して、市民に対して周知徹底することも重要と考えるが、見解を伺う。 (7) 小型金属ごみ袋(レジ袋程度/1枚単位で販売できる)を導入し、リチウムイオン電池等の分別回収を徹底するとともに、市民の皆様の利便性向上に向け取り組むべきと考えるが、見解を伺う。					
4	バリアフリー対応した消防車両の導入について	(1) 松江市内において、消防団の消防車両は、何か所で何台配備されているのか伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	8	議員名	海徳邦彦	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
質問項目		質問要旨					
		(2) 今後の軽自動車タイプの小型動力ポンプ付積載消防車両への更新計画はどのような状況なのか伺う。					
		(3) 聴覚障がい者にも配慮した警光灯(赤色灯)を搭載したバリアフリー対応の消防車両を導入し、MATSUE DREAMS 2030で掲げる「障がいの有無にかかわらず、多様性が尊重され、自分らしく過ごせる」まちを目指すとともに、松江市民のモットー「寛容」が広がる社会を構築すべきと考えるが見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	9	議員名	石倉聡之	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
		質問項目		質問要旨			
1		歩道の除雪体制について		(1) 冬季における歩道の除雪体制について、現在の対象路線、作業体制の現状と課題を伺う。			
				(2) 病院・学校・交通結節点周辺といった市民生活への影響が大きい「重点エリア」について歩道除雪の追加や拡充を検討されているか伺う。			
2		ホテル穴道湖跡地の活用方法について		(1) これまでどのような検討を行い、何が障害となって活用方針の決定に至らなかったのかを伺う。			
				(2) これまでに市が負担した総額、今後活用方針が決まるまでに見込まれる費用を伺う。			
				(3) ホテル穴道湖跡地については、民間事業者からの提案や県からの支援や連携の可能性はあるか伺う。			
				(4) 今後どのような活用の選択肢を持っているのか、方針決定までのスケジュールを伺う。			

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	10	議員名	長谷川浩司	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
質問項目		質問要旨					
1	新たな土地利用制度に係る市民意見交換会の結果について	(1) 8月25日から9月27日にかけて15の公民館区ほか、計17回の意見交換会が開催された。各地区の参加人数と出された意見はどのようなものが多かったのか伺う。 (2) 計17回の意見交換会で各地域のニーズは十分把握できたのか、今後はどのように各地域住民の方の理解を進めていくのか伺う。					
2	自治会要望の取り組みについて	(1) 過去から、土木や交通安全対策等の進捗について質問されてきたが、以下のとおり伺う。 ア 今年度に出されている要望の中で、過去から出されている未実施分の要望の数を伺う。 イ 未実施分の要望に対する対応は過去の対応と具体的にどう違ってくるのか伺う。					
3	空港連絡バス内の観光案内の充実について	(1) 令和4年11月定例会で、空港連絡バス内の観光情報の充実について質問がなされた。当時の観光部長からは、観光客へのおもてなし、滞在時間の延長や再来訪のきっかけとなる観光パンフレットの提供や、観光情報へと誘導するQRコードの貼付などの観光案内は、バス運行会社と調整を図ると共に検討する旨の答弁があった。その後の進捗について伺う。					
4	閑散期誘客対策事業について	(1) 観光客受入事業費・観光推進体制強化事業費4,540万円のうち、閑散期誘客対策事業2,287万円の具体的な内容を伺う。 (2) その財源について伺う。					
5	松江観光協会・DMOの現状と観光部との事業分けについて	(1) DMO認定から約9か月が過ぎ、今月から宿泊税の徴収が始まったが、以下のとおり伺う。 ア 現在、松江観光協会には8支部ある。DMOのことを含めて各支部に対する状況説明がいまだになされていないが、なぜか伺う。併せて今後は毎月本部事務局が支部事務局に対して状況説明をして情報を共有するべきだと思うが見解を伺う。 イ 宿泊税を財源とするDMOの来年度以降の組織はどうなるのか、具体的に伺う。 ウ DMOが始動して以降、観光部との業務の仕分けはどうなるのか、また観光部の組織体制はどのように変わるのか伺う。					
6	MATSUE観光戦略プランのアクションプランの進め方について	(1) MATSUE観光戦略プランの主要な事業について、アクションプランが策定されているが、以下のとおり伺う。 ア 現在の進捗状況はどうなっているのか伺う。 イ 観光部や松江観光協会から発出される事業説明等の文書について、アクションプランのどの項目のどの事業であるという表記があった方が、より事業実施の理解が進むと考えるが見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	11	議員名	森本秀歳	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
質問項目		質問要旨					
1	産業振興について	(1) 産業支援センター ア 産業支援センターが設置され12年経過した。設置の経緯と当時の市としての思いについて伺う。 イ 島根県の産業振興と連携が図れるとしてテクノアークしまね内に設置されたが、今日までの県との連携した取り組みについて伺う。 ウ 新産業創造課が昨年4月より創設された。この経緯について伺う。 エ 市内産業振興のためにも産業支援センターと新産業創造課の連携は必要と考えるが、現状はいかがか伺う。 オ 連携が必要ならば、離れていては不便ではないかと思うがいかがか伺う。 (2) 市独自のビジネスマッチング ア ビジネスマッチングは、これまで中海・宍道湖・大山圏域の中で行っているが、もう少し小規模であっても松江市内の企業同士でのビジネスマッチングや販路拡大につながる営業活動などできないか伺う。 (3) 市内製造業の現状把握 ア 最低賃金の引き上げ対応で松江市独自の取り組みとして、機械設備導入やDX化に資するソフト導入への支援策を実施しているとのことであった。しかしながら、DX化等に対応できる人材がいないという企業も少なくない。市内企業の実態をどう捉えているか伺う。 (4) 専門員の増強 ア 製造現場で経験を積んだ専門員を配置し、きめ細かいフォローを求める声がある。産業支援センター内の専門員の増強についての考えはいかがか伺う。 (5) 市内製造業視察 ア 市長は今年1月、2月に市内製造業現場を視察された。この視察を通じて、実際に現場に足を運び、肌で感じとることが重要と感じたと述べられた。現場視察を一度限りで終わらせず、支援策がうまくいっているのかご自身の目で確かめることも必要ではないか。継続して現場を視察される考えはあるのか伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	12	議員名	佐藤和彦	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
質問項目		質問要旨					
1	松江市総合計画 MATSUE DREAMS 2030と「地域版まち づくり総合戦略」に ついて	(1) 松江市総合計画MATSUE DREAMS 2030は令和2年に策定された「松江市まち・ひと・しごと創生人口ビジョン・第2次総合戦略」を包含した計画となった。当時はこの総合戦略を基本に「地域版総合戦略」として29の公民館区ごとに、現在の「地域版まちづくり総合戦略」を策定されたと思う。この「地域版まちづくり総合戦略」と松江市総合計画MATSUE DREAMS 2030との関連性の有無について伺う。 (2) 現在「地域版まちづくり総合戦略」は旧市内の公民館区のうち何地区で策定されているか伺う。また、その地域版まちづくり総合戦略の中に、総合計画にある中心市街地のエリアビジョンとの関連性はあるのか伺う。 (3) 松江市の最上位計画である、松江市総合計画MATSUE DREAMS 2030は、2030年までの5つの基本目標を柱に、多くの施策や計画がある。中心市街地エリアビジョンについては理解できる範囲であるが、その先の20年後、30年後、50年後の松江市のビジョンを伺う。 (4) 道路、鉄道、港、空港、などの交通インフラを含む基礎構造となる未来の「山陰新幹線、伯備新幹線、空港、駅、8の字ルート、水上交通」等に関する（または視点からみた）具体的な「コンパクト・プラス・ネットワーク」の将来ビジョンについて、市長の所見を伺う。					
2	宍道湖・中海の環境 問題について	(1) 「水の都まつえ」松江市民にとって大切な宍道湖と中海の特に生物環境は今どのようにあるのか伺う。 ア これまでのラムサール条約登録湿地に関する出前講座の開催状況と参加者数及び、県が行っている しまね出前講座「ラムサール条約について」「宍道湖・中海の水環境を考える」の開催状況と参加者数を伺う。 イ 宍道湖・中海で外来種（魚類）の生息状況と市内のため池での生息状況について伺う。また、外来種により漁獲量等に影響はあるか伺う。 ウ 近年アカエイやチヌが多く生息しているが、シジミの漁獲量に影響が出ているか伺う。 エ 中浦水門がなくなって以来宍道湖の塩分濃度の変化はどうなっているのか、また、生態系に影響が出ているか伺う。そして、今後、松江市として宍道湖・中海の環境変化にどのように取り組み、対応されるのか見解を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	13	議員名	佐々田慎吾	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
質問項目		質問要旨					
1	本市における人工内耳装用児・者の状況などについて	(1) 「日常生活用具給付対象」の中で人工内耳に関係する、①人工内耳体外器、②人工内耳空気亜鉛電池、③人工内耳充電式電池、④人工内耳充電器について、過去の申請状況について伺う。 (2) 本市では乳幼児が使用する人工内耳用イヤモールドは給付の対象になっていない。県内他自治体でこの乳幼児用が使用する人工内耳用イヤモールドが対象となっているかどうか助成内容の詳細も含めて伺う。 (3) 本市で乳幼児が使用する人工内耳用イヤモールドを日常生活用具給付対象に追加することについて伺う。					
2	奨学金代理返済制度について	(1) 令和4年2月議会での海德議員の質問に対し、「市内企業の奨学金返還支援に係る状況調査を行い、この調査結果と全国の先進事例を参考にして、官民連携による効果的な支援策について研究してまいりたい」との答弁があったが、その後、本市の状況について伺う。 (2) 若者の定住促進や企業の採用力向上に資する制度であることから、本市としてさらなる積極的な普及促進施策を進める考えはあるのか伺う。					
3	クマ対策及び、有害鳥獣の捕獲後の処理について	(1) 本市におけるクマの出没状況について伺う。 (2) 市民への情報伝達と危険回避の徹底について伺う。 (3) 今後のクマ被害の対策方針について伺う。 (4) 有害鳥獣の捕獲頭数と処理体制等の現状について伺う。 (5) 利活用に適さない有害鳥獣の捕獲後の処理について、埋設処分する際の穴堀の作業が捕獲従事者の大きな負担となっている。捕獲従事者の負担軽減に向けた取り組み及び、捕獲鳥獣の処理施設などの新設について伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	14	議員名	中村ひかり	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
質問項目		質問要旨					
1	産後を取り巻く環境について	(1) 合計特殊出生率を伸ばすために大切なことは何か。市の見解を伺う。 (2) 本市の男性の育休取得 ア 男性の育児休業の取得状況について現状を伺う。 イ 休暇の取りやすい職場風土の醸成のための取り組みの評価と今後の方針を伺う。 (3) 保育所利用 ア 短時間保育について市民の声を伺う。 イ 育休中も保育標準時間を継続利用できるように対応いただきたいが、市の見解を伺う。 ウ 産休中等に認められている転園が育休中は認められていないのはなぜか。育児休業中の転園も認めていただきたいが、市の見解を伺う。 (4) 訪問型子育てサポート事業 ア 訪問型子育てサポート事業の概要について伺う。 イ こどもを生み育てやすい環境づくりのために、補助の対象者を広げること検討いただきたいが、市の見解を伺う。					
2	こどもの遊び場について	(1) 主要公園で少しでも快適に過ごせるように、日よけやベンチなどの休憩施設を新たに設置いただきたいが、休憩施設の必要性について市の見解を伺う。 (2) インクルーシブ遊具の設置状況と今後の導入予定について伺う。 (3) こどもの遊び場を新たに整備することについて市長の構想を伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	15	議員名	原田守	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
質問項目		質問要旨					
1	エコクリーン松江 基幹的設備改良工事 と長期包括的運營業 務委託について	(1) エコクリーン松江基幹的設備改良工事と長期包括的運營業務委託の債務負担行為を同時に上程されなかった理由を伺う。 (2) 今回の長期包括的運營業務委託契約金額が、今までの15年間より増額となった要因と今後の見通しを伺う。					
2	エコクリーン松江 並びにごみ収集車で の火災について	(1) エコクリーン松江の火災について、火災発生から鎮火までの状況と修理費用を伺う。 (2) ごみ収集車の火災について、火災発生から鎮火までの状況と修理費用を伺う。					
3	小型充電式電池の 取り扱いについて	(1) 小型充電式電池の形状、使用されている商品を伺う。 (2) 小型充電式電池の取り扱いについて、現状の体制で、今後同様な事故が起こらないための対策を伺う。					
4	家庭用指定もやせる ごみ袋の規格・デ ザイン変更について	(1) 家庭用指定もやせるごみ袋のデザイン変更にかかった経費を伺う。 (2) マーブルテレビの松江市公式チャンネル「市民のみなさんこんにちは」では、小型充電式電池の捨て方について、小型充電式電池が使用されている製品の例をしてわかりやすく紹介している。 このデザインを指定もやせるごみ袋に採用してはどうか見解を伺う。 (3) 市民の皆様のリサイクル意識向上のため、家庭用指定もやせるごみ袋の透明化と強度の向上を伴う規格・デザイン変更について伺う。					
5	MATSUE起業エコ システムについて	(1) 創業支援と起業エコシステムとの相違点を伺う。 (2) 起業エコシステムの施策実施から今までの計画と実績を伺う。 (3) 起業エコシステムでは、スタートアップ企業の育成そして上場を目指していただくわけだが、上場企業誕生の可能性について所感を伺う。					
6	ステーブルコイン について	(1) ステーブルコインの基本を伺う。 ア ステーブルコインの名前の意味を伺う。 イ 同様な技術を使用したビットコインやイーサリアムとの違いを伺う。 ウ ステーブルコインのメリットとデメリット・注意点を伺う。 (2) 世界での状況を伺う。 ア アメリカの状況について伺う。 イ ヨーロッパ・EUの状況について伺う。					

一般質問通告事項

令和7年12月2日
第6回松江市議会定例会

順序	15	議員名	原田守	(個人質問)	(一問一答方式)	質問日(予定)	12月9日
		質問項目	質問要旨				
7		金融教育について	ウ 中国の状況について伺う。 (3) 日本では、スタートアップ企業「JPYC社」が先行しているようだが、日本におけるステーブルコインの状況について伺う。 ア 2023年6月1日施行された、改正資金決済法について伺う。 イ 「JPYC社」の業務内容・ビジネスモデルについて伺う。 ウ 「JPYC社」の発行している時価総額について伺う。 (4) ステーブルコインを扱う「JPYC社」の状況、業務内容、市場に与えるインパクトを含め、地方である松江市に及ぼす影響について見解を伺う。 (1) 松江市では、金融教育を小・中・高校どの段階でどの教科で取り上げているのか状況を伺う。 (2) 金融教育の授業主体者を伺う。 (3) 金融教育において先生や外部講師の方のご負担について伺う。 (4) 地方に住む子どもたちは、都市部に住む子どもたちに比べ学習機会が多いとは言えない。 是非、質の高い学習機会を得るための指導方法について今後の方針を伺う。				